記入例

令和３年度ボランティアグループ育成・助成金交付申請書

令和　　年　　月　　日

社会福祉法人 葛飾区社会福祉協議会
会　長　　秋 本 勝 利　あて

団体名　いきいき高齢者グループ

代表者　葛飾　一郎　印（葛飾）

所在地　葛飾区堀切３－３－３

電話番号　５６９８－２５１１

会計担当者　葛飾　二郎　印（葛飾）

電話番号　５６９８－２５１２

ボランティアグループ育成・助成金について、下記のとおり申請します。

記

１ 助成事業申請区分（A 又は B のどちらか）

A区分（該当する番号に○をつけてください）
（１）団体の学習会及び研修活動　　（２）活動に必要な器具・機材の整備
（３）団体のモデルとなる新規活動など　（４）団体の広報紙・記念誌等
（５）その他、団体の活動に必要なもの

B区分
ボランティア団体の常用的な活動に必要な経費

２ 申請事業（活動）名

（B 区分の場合は、不要）　認知症予防研修会

３ 助成金交付申請額

￥　64,000

４ 添付書類
① 事業計画書兼予算書　② 団体紹介（団体概要、活動実績など）
③ 見積書（器具・機材の整備の場合、コピー添付）
④ 会員名簿・定款・会則等（ボランティア登録時に提出済みで、変更がない場合は提出不要）

記入例

① 事業計画書兼予算書

1 申請事業名　　認知症予防研修会

2 申請事業について

① 事業の目的　　会員や地域の高齢者の認知症予防のため、

普段の生活に役立つ知識を習得する。

② 事業の内容　　認知症専門家に研修会の講師を依頼し、難しい話しではなく、

高齢者でも理解できる内容で、普段の生活にいかせる研修会を開催する。

③ 実施による効果　　研修会の参加者が認知症予防の知識を習得し、

普段の生活で自ら取り組み、健康長寿につなげていく。

3 事業予算書（上記事業計画にかかる資金計画）

当該事業の資金計画（予算）		支出経費内訳	
項　目	金　額	項　目	金　額
助成金	６４，０００円	講師謝礼	３０，０００円
自主財源（団体負担）	６，０００円	印刷代（資料）	３０，０００円
利用者負担金	１０，０００円	会場使用料	２０，０００円
その他（　　）	円		円
収入計	８０，０００円	支出計	８０，０００円

↑　　↑

注：収入計と支出計は同額にしてください。

※ボランティア登録用紙に活動内容・活動実績を記入している場合は、
提出する必要ありません。

記入例

② 団体の概要

① 団体の目的と活動について（設立の目的、活動内容、場所、頻度等）

高齢者の認知症予防を目的に地域の仲間が集まり、平成〇〇年に設立。現在、会員数３０名にて、毎月第一、三土曜日に活動している。

活動内容は月に１回の勉強会と区内各地域での認知症予防出前教室が中心。勉強会では会員それぞれが持ち寄った認知症予防に役立つ情報を会員間で共有する。また、その情報は運動、食事などの項目別に分け、予防マニュアルとして随時更新している。

また、各地域の町会などを通じて出前教室を行っている。今年は会員や知人を対象に、認知症の専門家を呼んでの研修会を予定している。

② 昨年度の活動実績

令和〇年７月〇日　　勉強会　会員１８名

〇日　　堀切地区〇〇町会会館での出前教室　　参加者２０名

９月〇日　　東京都主催の認知症サミットに参加　　会員２２名

※　活動に関するチラシや写真などがあれば、裏面に添付してください。